

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー

KIKUSUI



福まち通信

No.74 2014.3.20

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10

電話 011-887-7006 FAX 011-811-3831

URL <http://kikusui-net.jp>

新年互礼会

1月10日(金):菊水地区会館



協議会

会



菊老協新年会

1月11日(土):菊水地区会館

お年寄りと
子どもの交流会

1月9日(木):菊水地区会館



2014 (午年)

今年も菊水の1年がスタート!!

成人式

1月13日(成人の日)
コンベンションセンター



雪中運動会

2月8日(土)止白小



待ち遠しい春の足音も聞こえてきます!!



平成25年度第二回福まち研修会、65名の方々が参加。



平成25年度第二回福まち研修会は「災害時・地域支援」の講座として、平成26年2月28日（金）、札幌市ボランティアセンター・小幡 日哉氏をお迎えし、65名の方々が参加、菊水地区会館で開催されました。

想定される地震～札幌市でもし災害がおきたら・・・という仮説から、市内には、潜伏活断層「西札幌断層」「月寒断層」「野幌断層」があり、中でも月寒断層がマグニチュード7.3で広範囲に渡り、直下型の震度6弱以上の強い揺れと、建物倒壊、火災発生、犠牲者多数、移動困難等多岐にわたり甚大な被害をもたらすとされています。

災害発生時の対応は

1. 自助：自分の身は自分で守る
家具等の転倒防止・非常用防災グッズの整備・家内での話し合い等々
2. 共助：自らの地域は自らの手で守る
安否確認・声掛け、救命活動、避難所生活、等々
3. 公助：公共機関の援助
大規模災害時は、行政や防災機関だけでは救助活動

は出来ません。家族や隣近所の住民・企業の協力が求められます。発災後72時間は、自助・共助で対応しなければならぬ場合も想定されます。

電気・水道・ガス等のライフラインが壊滅することを考慮すると、各家庭・向こう二軒両隣・各町内会等は、少なくとも72時間生活できる非常用防災用品の確保と、避難先を予め決めることが必要と考えます。

また、災害の現場では、救済物資の仕分けや炊き出し、被災家屋のかたづけ、仮設住宅等における住民同志の交流活動の支援などのボランティア活動があります。

被災されている方は、自分達の方だけでは出来ない作業や、精神的ショックから体を動かす気持にならないうちもあります。そんな時、ボランティアが大きな力を発揮します。札幌市に限らず、道内外各地での災害ボランティア活動を体験することも将来に備えるうえで重要なことかもしれません。

福祉のまち推進センターの活動として、次年度も引き続きこのような研修会を開催する予定です。



平成25年度菊水地区福祉活動座談会が開催される



札幌市民福祉活動計画の一環として「福祉活動座談会」を平成24年度から各地区で順次開催し、今年度は、菊水地区で開催されることとなり、3月10日（月）菊水地区会館で、町内会関係者・菊水地区民生委員・老人クラブや福祉活動団体等から49名の参加者を迎えて開催されました。また、主催者からは社会福祉協議会（札幌市・白石区）・白石区保健福祉部・菊水地区センター所長など7名がスタッフとして、参加されました。

1. 問題提起
白石区社協 佐藤 事務局長より説明
「民生委員・町内会・福祉活動団体の連携による見守り活動の必要性について」
2. 菊水地区内での半町・連町での活動発表
菊水西連町「菊水4条1丁目町内会」
菊水南連町「菊水3条4丁目町内会」
菊水北連町「菊水北第6町内会」〔資料紹介〕
3. グループワーク

「昨年ご主人を亡くされ、家に引きこもりがちで体調

もすぐれない女性が近所に居住し、離れて暮らしているお子さんから心配して相談を受けた場合、あなたならどうしますか？」

以上のような架空事例により、それぞれの立場で何が出来てくるかを、参加者が菊水地区各連町単位5グループ（東・西・南・北・上町）に分かれ討議

4. 各グループ発表
菊水地区各連町5グループによる発表
5. まとめ

札幌市社会福祉協議会 柏 地域福祉課長
架空とはいえない比較的身近なテーマが与えられたため、各グループとも活発な討議が重ねられ、与えられた50分間があっという間に過ぎました。見守りや声掛けなど、日常の活動の他、個々のケースに合わせた取り組みの必要性が確認されるなど、それぞれの立場での有意義な時間を過ごされたものと思います。これを契機に福祉マップ等の見守りの輪がどの地区に広がることを願ってやみません。

恒例、冬の風景

■お年寄りとお子さんの交流会
お居候気分も冷めやうぬ

1月9日（木）菊水地区会館にて、菊水地区まちづくりネットワーク会議主催の「お年寄りとお子さんの交流会」が開催され、暖湯げやミニボウリング、古懐かし遊びやストラップの制作など、昼食のカレーライスも含め、10時から午後3時まで楽しいひと時を過ごしました。

■新年互礼会

等日、1月10日（金）には同じく菊水地区会館に於いて、菊水町内会連絡協議会主催「菊水地区新年互礼会」が上町連合町内会の主管のもと開催されました。会の終盤には白石区民も駆けつけ、新年の集いを人々に盛り上げていただきました。



■菊老協新年会

1月11日（土）午前11時から菊水地区会館2階ホールに於いて、菊水・菊の里・東札幌地区老人クラブ連絡協議会（菊老協）主催による新年会が開催されました。会場には70名を超える会員の参加があり、和やかに新年の挨拶を交わしながら所定の席に着き開会を待ちました。

定刻になり菊老協（菊の生）土肥会長の司会進行でスタート菊老協高橋会長（北町・菊老協）の挨拶で開会しました。菊水まちづくりセンターの佐々木所長および札幌連の会長の水野挨拶があり、菊老協相談役の松浦市議からは、健康と雪道の転倒防止注意点などの身近な話題に、参加者はうなづき



間をおき会場は大いに盛り上がりました。

最後は音楽会（東米里）小林会長の乾杯で閉会となりました。

■白石区成人式

1月13日には札幌二ッペンセンターに於いて「白石区成人式」が開催されました。晴れ

ながら引き入っておりまして。

そのあとはお持ちかたの演奏タイムで、各クラブから日頃の練習の成果を舞台いっぱいひびく演奏があり、引き続きカラオケが始まりました。会場からの飛び入りもあり、熱唱で会場からの掛け声や声援が送られ、予定時間を超えてお楽しみ会となりました。

最後は音楽会（東米里）小林会長の乾杯で閉会となりました。

最後は音楽会（東米里）小林会長の乾杯で閉会となりました。

最後は音楽会（東米里）小林会長の乾杯で閉会となりました。

最後は音楽会（東米里）小林会長の乾杯で閉会となりました。

着姿やスーツ姿の新成人約1,000人が会場を訪れ、白石区長や来賓の方々のお祝いや励ましの言葉を授け、男女二名の新成人の代表が力強い決意表明を述べ式典は終了。その後は、コーナードではたちの同窓会、久しぶりの再会に、記念撮影など交流の輪が広がりました。多少元気の有り余った一部のグループもありましたが、大きなトラブルもなく、今年も穏やかな成人式でした。

■菊水地区雪中運動会

2月8日（二）には二ッペン小学校グラウンドに於いて、菊水地区青少年育成委員会及びまちづくりネットワーク会議主催の「第16回菊水地区雪中運動会」が、晴れ渡った空のもと開催されました。当日は最低気温が氷点下15度を記録し大変寒い中での開催でしたが、よちよち歩きのお子から小学6年生

まで約250人が色々なゲームに参加し、雪の中で楽しく駆け回りました。ゲームの合間には温かいココアで寒さをしのぎ、最後にはお稲荷さんと人形のセツが全員に配られ、午前10時から12時までの2時間があっという間に過ぎてしまいました。今年も菊水地区中学校生徒会会長の皆さんが競技進行を担当し、挨拶のチームワークで役割を果たしてくれました。最後に来年の当番役である札幌市PTA会長の皆さんの力強い受け入れ挨拶で、寒かったけれど大変楽しかった雪中運動会を締めくくりました。





子育てサロン「どんぐりころころ」 ミニコンサート

3月11日、昨年9月に続き今年度2回目の「ミニコンサート」が菊水地区会館2階ホールにて開かれました。3月はこのサロンの運営にあたっていた民生委員の交代期にあたり、また4月から保育園や幼稚園に通われるお子さんもいて、一つの区切りとしてこのミニコンサートが企画されました。「さんぽ」「となりのトトロ」などのお馴染みのナンバーの他、今回は「歌えバンバン」と「にじ」も新しいレパートリーに加え9曲を歌いました。「歌えバンバン」は男声として参加されている枝元さん主催の「お茶の間サロンチャオ」のテーマソングで、月2回の集まりでは必ず全員で歌っているとのこと、この日はチャオのメンバー7名も加わりコーラスどんぐりとのコラボが実現しました。中には80も半ばを超える方もいらっしやって、お母さん、おばあちゃん(私たち?)、ひいおばあちゃん(チャオの皆さん)、なんと四世代が一つの会場に揃うこととなりました。また「にじ」という曲は、作詩者・作曲者二人とも保育園の現場で働いていた男性たちによって作られた曲だそうです、私の孫が“～くしゃみをひとつ～”と口ずさんでいたので不思議な詞だな?と思っていましたが、実際に歌ってみるとなかなか歌いやすく元気が出る曲でした。しめくくりは「思い出のアルバム」、3月には定番の曲ですが、この日、3月11日は東日本大震災が3年前に発災した日です。東北の方たちが生まれ育った山や川、そして町が想像を絶する大津波に呑まれ、人の命も想い出も、一瞬で消し去った事を思いながら、送り出す気持ちと共に鎮魂



の意味も込めて披露しました。最後の歌詞は“もうすぐみんなは一年生”となっていますが、この日は“もうすぐみんなとさようなら”と工夫してみました。

前回と違って短期間の練習しかできず、満足のいく演奏だったか不安でしたが、最後の「アンパンマン体操」は、子どもたちが心なしかいつもより元気よく飛び跳ねていて、楽しんでくれていたのを見て安心しました。

合唱のリードに大変だった男声のお二人や、伴奏・曲の手配などサポートいただいた育成委員のお二人にも誌面を借りて改めて御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。



(“コーラスどんぐり”では一緒に歌っていただける仲間を募集しております。経験は問いません。気軽に合唱を楽しんでみませんか?)

●上白石小学校で行われている子育てサロン「ぶりんぷりん」や菊水やよい児童会館の子育てサロンでは、それぞれ修了式が行われ、幼稚園や保育園に元気で巣立っていきました。

編集後記

◆例年になく寒く雪の多いこの冬ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。3月は別れの月といわれています。菊水地区には小学校から高校まで5つの学校があり、まず、札幌東高等学校では3月1日(土)に卒業式が行われました。3月14日(金)には幌東中学校、20日(木)には東橋・幌東・上白石の各小学校でそれぞれ卒業式が行われます。「蛍の光」や「仰げば尊し」等のメロディーを懐かしく思う世代にとって、現代の卒業式は様子が違うようで、式で歌われる歌も時代と共に変わり、様々な曲で送り出されているようです。

◆3月17日(月)には道立高校の合格発表が全道一斉に行われます。そして4月に入ると7日(月)が各小学校の入学式、8日(火)は幌東中と東高の入学式があります。ピカピカのランドセルを背負った元気な姿に会える日はもうすぐです。雪どけが進んだとはいえ、例年にない大雪の影響で、大きな通りでも積雪による死角が目立ちます。登下校時に、子どもたちが安心して通学できるよう地域で見守っていききたいものです。

◆いつもは月の初めには回覧等で皆様にお目にかかる「よつクロ」ですが、2月末から3月初めにかけて大きなイベントが続いたため3月20日の発行となりました。発行が遅れましたことに対し深くお詫び申し上げます。

次の発行日は5月1日を予定しております。次号では福祉にかかわる組織の紹介などが主な内容となる予定です。

